



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7022 URL <https://www.sanoyas.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北達 伊佐雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 福井 直也 (TEL) 06-4803-6171  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,326	4.6	△877	—	△788	—	△812	—
2023年3月期第2四半期	7,956	△3.5	△699	—	△568	—	△555	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △328百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △757百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△24.23	—
2023年3月期第2四半期	△16.71	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	27,867	7,549	26.8
2023年3月期	25,702	8,010	30.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,478百万円 2023年3月期 7,935百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期(予想)			—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	14.2	500	422.9	500	26.5	300	△29.5	9.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	33,752,682株	2023年3月期	33,473,786株
2024年3月期2Q	47,235株	2023年3月期	47,215株
2024年3月期2Q	33,546,089株	2023年3月期2Q	33,243,019株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	7,956	<b>8,326</b>	369	4.6
営業利益	△699	<b>△877</b>	△178	－
経常利益	△568	<b>△788</b>	△220	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	△555	<b>△812</b>	△257	－

売上高は、製造業向けセグメントにおいて半導体不況により産業機械部品の製造が大きく落ち込んだこと、レジャーセグメントにおいてパレットタウン大観覧車の営業が終了したこと等により減収となった一方で、主に前年同期に電子部品・部材の長納期化の影響を大きく受けて落ち込んだ建設業向けセグメントが復調したこと、また2022年8月に買収した松栄電機(株)の売上高が寄与したことから、全体としては増収となりました。

営業利益は、主に建設業向けセグメントの事業特性上、第4四半期に売上計上が集中し、上期の段階では売上が少なく固定費を賄えないため損失を計上する傾向にあります。当上期は、比較的高収益の産業機械部品の製造やレジャー事業が売上を落としたことから、赤字幅を広げる結果となりました。

経常損失の拡大は、政策投資株式の配当が減少したことによるものです。

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率 (%)
受注高	8,447	<b>10,767</b>	2,320	27.5
受注残高	12,426	<b>17,527</b>	5,100	41.0

建設業向けセグメントにおいて引き続き旺盛な建設需要を反映して好調に推移したこと、レジャーセグメントにおいて大口受注を獲得したことから、受注高、受注残高ともに大きく伸長しています。

セグメント区分

	製造業向けセグメント	建設業向けセグメント	レジャーセグメント
サノヤス・エンジニアリング(株) 機械式駐車装置の製造及びメンテナンス ショットブラストマシンの製造及びメンテナンス 建設工事用エレベーターの製造及びレンタル	○	○ ○	
サノヤス精密工業(株) 各種産業機械部品の製造及び組立 農機及び特装自動車用部品の製造及び組立	○ ○		
みづほ工業(株)、美之賀機械(無錫)有限公司 乳化・攪拌装置の製造 純水設備・排水処理設備及び膜分離装置の設計及び施工 大型食品タンク等各種タンクの設計及び施工	○ ○ ○		
サノヤス・エンテック(株) 空調・給排水・衛生設備の設計及び施工 環境装置の製造及びメンテナンス 医療廃棄物処理装置の製造及びメンテナンス	○ ○	○	
ハピネスデンキ(株) 大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造及び電気工事		○	
松栄電機(株)、松栄電気システムコントロール(株) 通信インフラ向け配電盤・分電盤等の製造		○	
サノヤス・ライド(株)、サノヤス・ライドサービス(株) 遊園地遊戯機械設備の製造及びメンテナンス 遊園地施設の運営管理の受託			○ ○

## (製造業向けセグメント)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	3,716	<b>3,301</b>	△414	△11.2
営業利益	73	<b>△90</b>	△164	—
受注高	3,686	<b>3,745</b>	58	1.6
受注残高	4,646	<b>6,204</b>	1,557	33.5

売上高は、乳化・攪拌装置の製造等は健闘したものの、半導体不況や中国向け需要の減退により産業機械部品の製造及び組立が大きく落ち込んだことや、ショットブラストマシンの販売が低調であったため、減収となりました。営業利益は、産業機械部品の製造及び組立において稼働率が低下し、コスト削減に努めたものの赤字となりました。

受注高は、乳化・攪拌装置の製造及び環境装置の製造が堅調でしたが、産業機械部品の製造及び組立が低調であったため前年並みとなりました。

## (建設業向けセグメント)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	2,405	<b>3,639</b>	1,233	51.3
営業利益	△465	<b>△291</b>	174	—
受注高	4,162	<b>5,110</b>	948	22.8
受注残高	6,741	<b>9,436</b>	2,695	40.0

売上高は、前年同期に電子部品・部材の長納期化の影響を受けた高層ビル用の配電盤を主体とする動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造や機械式駐車装置のメンテ修繕及びリニューアル工事が復調した他、2022年8月にM&Aで買収した松栄電機㈱の売上高が寄与したため、大幅増収となりました。但し、建設業界特有の第4四半期に売上計上が集中する傾向には変わりなく、赤字幅を圧縮したものの営業損失を計上することになりました。

受注については、首都圏を中心とした旺盛な建設需要を受けて、動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造や建設工事用エレベーターの製造及びレンタルが順調に積み上がり、受注高、受注残高ともに大きく伸長しました。

## (レジャーセグメント)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	1,834	<b>1,384</b>	△449	△24.5
営業利益	443	<b>249</b>	△193	△43.7
受注高	598	<b>1,911</b>	1,312	219.4
受注残高	1,039	<b>1,886</b>	847	81.6

当第2四半期は、引き続き部品販売・メンテナンスに注力したものの、遊園地遊戯機械設備の販売が少なかったこと、遊園地施設運営において2022年8月31日に営業を終了したパレットタウン大観覧車の売上がなくなったこと及び休日の天候不順が来客に影響したことから、前年同期比減収減益となりました。

受注については、よみうりランドから観覧車を受注する等大きく受注高を伸ばしました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	前会計年度	当第2四半期	増減額	主な増減理由
流動資産	11,807	<b>13,332</b>	1,525	受取手形及び売掛金 $\Delta 2,345$ 現金及び預金 2,661 仕掛品 1,340
固定資産	13,895	<b>14,534</b>	639	投資有価証券 707
流動負債	10,395	<b>13,707</b>	3,311	支払手形及び買掛金 $\Delta 881$ 短期借入金 3,200 電子記録債務 1,061
固定負債	7,296	<b>6,610</b>	$\Delta 685$	長期借入金 $\Delta 818$
純資産	8,010	<b>7,549</b>	$\Delta 461$	その他有価証券評価差額金 483 利益剰余金 $\Delta 979$

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2,661百万円増加し、3,990百万円となりました。

(単位：百万円)

前第2四半期	当第2四半期	増減額	主な収入・支出	
(営業活動によるキャッシュ・フロー)				
△182	<b>1,176</b>	1,359	棚卸資産の増加	△1,494
			税金等調整前四半期純損失	△786
			売上債権の減少	2,151
			法人税等の還付	368
			契約負債の増加	364
			減価償却費	354
			仕入債務の増加	230
(投資活動によるキャッシュ・フロー)				
△828	<b>△514</b>	313	有形固定資産の取得による支出	△417
			無形固定資産の取得による支出	△82
(財務活動によるキャッシュ・フロー)				
1,263	<b>1,987</b>	723	長期借入金の返済による支出	△1,645
			短期借入金の純増減額	3,200
			長期借入れによる収入	700

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現時点においては2023年5月12日に公表した数値を見直ししておりません。

(今後の当社グループの業績におけるリスク要因)

- ・地政学リスク等による部品・部材調達の遅れや原材料価格の上昇が製造業向け・建設業向けセグメントに影響を与えるリスク
- ・コロナ禍の再拡大がレジャーセグメントの事業環境悪化を招くリスク
- ・台風や地震等自然災害が当社や協力会社などのサプライチェーン及び顧客に与えるリスク
- ・グローバル経済の減速が顧客の売上や設備投資に影響するリスク

今後、こうした要因を含め、業績予想の修正開示が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,389	4,050
受取手形及び売掛金	5,119	2,774
契約資産	300	715
電子記録債権	1,003	791
商品及び製品	243	254
仕掛品	1,565	2,906
原材料及び貯蔵品	1,179	1,333
その他	1,018	516
貸倒引当金	△13	△10
流動資産合計	11,807	13,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,275	3,216
機械及び装置（純額）	1,601	1,755
土地	2,831	2,831
その他（純額）	582	454
有形固定資産合計	8,292	8,258
無形固定資産		
ソフトウェア	353	386
のれん	679	634
その他	17	17
無形固定資産合計	1,050	1,037
投資その他の資産		
投資有価証券	3,853	4,560
繰延税金資産	222	197
退職給付に係る資産	278	282
その他	206	206
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	4,552	5,238
固定資産合計	13,895	14,534
資産合計	25,702	27,867



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,575	1,694
電子記録債務	983	2,044
短期借入金	2,250	5,450
1年内返済予定の長期借入金	1,797	1,669
未払法人税等	91	34
契約負債	1,030	1,406
賞与引当金	370	384
保証工事引当金	69	92
受注工事損失引当金	3	39
リース債務	222	227
その他	1,002	662
流動負債合計	10,395	13,707
固定負債		
長期借入金	3,660	2,842
リース債務	575	470
繰延税金負債	1,084	1,264
退職給付に係る負債	1,661	1,717
資産除去債務	311	311
その他	2	4
固定負債合計	7,296	6,610
負債合計	17,691	20,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,603	2,623
資本剰余金	22	41
利益剰余金	3,506	2,526
自己株式	△9	△9
株主資本合計	6,122	5,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,619	2,103
繰延ヘッジ損益	1	8
為替換算調整勘定	60	78
退職給付に係る調整累計額	130	106
その他の包括利益累計額合計	1,812	2,296
新株予約権	75	70
純資産合計	8,010	7,549
負債純資産合計	25,702	27,867

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,956	8,326
売上原価	6,189	6,765
売上総利益	1,767	1,560
販売費及び一般管理費	2,466	2,438
営業損失(△)	△699	△877
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	185	126
その他	18	18
営業外収益合計	205	146
営業外費用		
支払利息	59	50
その他	15	7
営業外費用合計	75	57
経常損失(△)	△568	△788
特別利益		
固定資産売却益	6	1
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	6	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△561	△786
法人税、住民税及び事業税	41	35
法人税等調整額	△48	△9
法人税等合計	△6	25
四半期純損失(△)	△555	△812
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△555	△812

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△555	△812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△282	483
繰延ヘッジ損益	29	6
為替換算調整勘定	48	17
退職給付に係る調整額	2	△23
その他の包括利益合計	△202	484
四半期包括利益	△757	△328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△757	△328
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△561	△786
減価償却費	316	354
のれん償却額	53	44
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5	56
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28	13
保証工事引当金の増減額 (△は減少)	2	23
受注工事損失引当金の増減額 (△は減少)	—	36
受取利息及び受取配当金	△187	△128
支払利息	59	50
固定資産売却損益 (△は益)	△6	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	1,779	2,151
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,102	△1,494
前渡金の増減額 (△は増加)	87	△9
仕入債務の増減額 (△は減少)	△269	230
契約負債の増減額 (△は減少)	156	364
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△57	△81
その他	△287	△88
小計	4	730
利息及び配当金の受取額	187	128
利息の支払額	△60	△50
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△314	368
営業活動によるキャッシュ・フロー	△182	1,176
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△267	△60
定期預金の払戻による収入	163	60
有形固定資産の取得による支出	△448	△417
有形固定資産の売却による収入	97	3
無形固定資産の取得による支出	△57	△82
投資有価証券の取得による支出	△10	△11
投資有価証券の売却による収入	—	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△295	—
その他	△10	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△828	△514
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,240	3,200
長期借入れによる収入	900	700
長期借入金の返済による支出	△1,515	△1,645
配当金の支払額	△165	△167
リース債務の返済による支出	△195	△99
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,263	1,987
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	285	2,661
現金及び現金同等物の期首残高	3,376	1,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,661	3,990

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	製造業向け	建設業向け	レジャー			
売上高						
一時点で移転される財 又はサービス	3,605	1,345	1,396	6,346	—	6,346
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	111	1,060	438	1,610	—	1,610
顧客との契約から生じる 収益	3,716	2,405	1,834	7,956	—	7,956
外部顧客への売上高	3,716	2,405	1,834	7,956	—	7,956
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	△1	—
計	3,716	2,407	1,834	7,958	△1	7,956
セグメント利益又は 損失(△)	73	△465	443	51	△751	△699

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△751百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△760百万円、貸倒引当金の調整額0百万円及びセグメント間取引消去8百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	製造業向け	建設業向け	レジャー			
売上高						
一時点で移転される財 又はサービス	3,080	2,148	1,228	6,457	—	6,457
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	220	1,491	155	1,868	—	1,868
顧客との契約から生じる 収益	3,301	3,639	1,384	8,326	—	8,326
外部顧客への売上高	3,301	3,639	1,384	8,326	—	8,326
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,301	3,639	1,384	8,326	—	8,326
セグメント利益又は 損失(△)	△90	△291	249	△132	△745	△877

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△745百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△754百万円、貸倒引当金の調整額0百万円及びセグメント間取引消去8百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。